

---

# 太陽の子磯子保育園

\*\*\* 評価結果 \*\*\*

---

2015年3月

---

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関第26号 横浜市福祉サービス第三者評価指定機関第17号

評価実施機関：特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201号

TEL045-228-9117・FAX045-228-9118

<http://www.yresearch-center.jp>

---



## 実施概要

|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 事業所名   | 太陽の子磯子保育園                |
| 報告書提出日 | 2015年2月5日 (評価に要した期間6か月間) |
| 評価機関   | 特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター |

### \*評価方法

|                 |   |
|-----------------|---|
| 1. 自己評価         | 【実施期間：2014年8月1日～2014年11月5日】<br>・各自で記入したものをクラス、看護師、栄養士、調理師を交えた4グループで意見交換しながらまとめた。<br>・それを元にグループ代表、園長、主任にて協議して会議でまとめた。  |
| 2. 利用者家族アンケート調査 | 【実施期間：2014年9月16日～2014年10月1日】<br>配付：全園児の保護者（68家族）に対して、園から手渡しした。<br>回収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。  |
| 3. 訪問実地調査       | 【実施日：2014年12月8日、2014年12月10日】<br>■第1日目<br>①午前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。<br>②午後：書類調査～事業者面接調査（園長、主任）<br>■第2日目<br>①午前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。<br>②午後：職員ヒアリング（クラスリーダー6名、看護師、栄養士、非常勤保育士、保育補助員）～事業者面接調査（園長、主任） |
| 4. 利用者本人調査      | 【実施日：2014年12月8日、2014年12月10日】<br>①訪問日両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排せつ、午睡の状況、登降園の様子などを観察。<br>②乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間などに適宜聞き取り調査を実施。  |

## 評価結果についての講評

(高く評価できる点、独自性のある点、今後期待される点、工夫改善点などについての総括)

### 【施設の概要】

太陽の子磯子保育園は、JR 根岸線「磯子」駅から徒歩約8分、磯子区役所・磯子図書館などが建ち並び、街区の5階建てオフィスビルの2階にあり、2012年(平成24年)4月、長谷川興産株式会社により開設されました。

園の施設は、保育室、多目的ホール、事務室、調理室などからなり、保育室の外側に人工芝を敷いたテラスがあり、子どもたちの遊び場となっています。保育室は、0・1歳児室、2・3歳児室、4・5歳児室の3つに分かれ、クラスごとの仕切りとして、背の低い棚などを設けています。

定員は81名(生後57日～5歳児)、開園時間は、平日7時30分～20時、土曜日7時30分～18時30分です。

保育理念を「“のびのび すくすく にこにこ” 子ども・保護者・地域・保育者、みんなで感動を分かち合い、満足できる笑顔あふれる保育園を目指します」と定め、保育方針は「・安心できる人間関係、整った保育環境の中で自己を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図ります。・様々な経験や人との関わりの中で、温かい人間性と豊かな感性を持った子に育てます。・子育て支援や地域との交流を深め、存在感のある保育園になるよう支援の充実に努めます。」としています。また、保育目標を「心身共にたくましく 元気な子ども ・友達と仲よく遊び 思いやりのある子ども ・感性豊かで 自分で考え行動ができる子ども」としています。

### 1. 高く評価できる点

#### ●子どもたちは、元気よく遊びながら、さまざまなことを学んでいます

子ども一人一人のしたいことを重視した保育が行われています。おもちゃや教材、絵本などは、子どもが自分で取り出して遊べるように、種類ごとに分けて箱に収納されています。朝夕の自由遊びの時間などに、絵本読み・ぬり絵・ブロック遊び・パズル遊びなど、一人で好きなことに熱中したり、友だちと一緒に遊んだり、それぞれに楽しんでいます。一斉活動では、リズム遊び・跳び箱・マット運動など発達に応じた運動が積極的に取り入れられているほか、寒い冬の日でも、できるだけ戸外に出るようにしています。テラスで、みんなで走り回ったり、公園で滑り台に興じたりしています。年齢の小さい子どもたちも、急な坂道を頑張って登り、海や船を見て歓声をあげている姿が見られます。また、水路沿いの遊歩道を散歩し、水中の生き物を探したり、草花の名前を保育士から教えてもらったりしています。夏には園のテラスにあるプランターで、ミニトマト、枝豆、なす、きゅうりなどを栽培して、水やり、観察、収穫の経験をしています。

給食の時間では、配膳が終るまで席について静かにしていることや、終わったあとは歯磨きをすることなどの生活習慣をきちんと身につけているほか、午睡のために着替えた服はきちんと畳むことも学んでいます。

毎月、ホールで全園児が集まったの誕生会があるほか、4・5歳児クラスの子どもたちは、週末の金曜日に、0・1歳児室に出向き、シーツ交換を手伝うなど、異年齢児同士の交流もあります。年末に行われるクリスマス発表会のリハーサルでは、みんなで協力してやることの大切さや楽しさを学んでいます。「よくで

きたね」と園長から褒められて子どもたちが喜び姿も見られます。

保育士は、子ども一人一人の興味・関心を見守りながら、うまくできたときは「じょうず」「すごい」など声をかけ、できないところは、ヒントを与えたり、手伝ったりして、子どもが「できた！」の喜びを感じられるようにしています。クラス会議・職員会議などで綿密な連絡を取り合い、一人一人の成長にあった保育を心がけ、子どもの目線に立ち、子どもの思いを聞き入れるとともに、友だちと仲良くすることやルールを守ることも身につけられるようにしています。

## 2. さらなる工夫が期待される点

### ●危機管理マニュアルの工夫

「危機管理マニュアル」として、事故・けが、急病、感染症、食中毒、熱中症、児童虐待、不審者、苦情、地震、火災など、それぞれについて1枚ずつフローチャート形式でまとめ、誰が見ても分かるようにしています。しかし、このマニュアルは、全社共通のものなので、オフィスビルの2階にあることや地域の状況に適したものかなどを検討することが望まれます。

また、これらのチャートの内容は、発生後どのように対応するか・どこに連絡するか・どのように行動するかなどが主体であり、発生を予防するには何をすべきかなどが記載されていないものがあります。事故発生後の対応だけでなく、発生予防策を含んだマニュアルを整備することが期待されます。

## 3. 改善が望まれる点

### ●地域の子育て支援サービスへの対応

一時保育は行っていますが、開園後、日が浅い・園庭が無いなどの理由で、交流保育・園庭開放や、子育てや保育に関する講習・研修会、育児相談などは行っていないのが現状です。今後どのように取り組んで行くかを検討することが望まれます。

子育て支援へのニーズがあることは園としても認識していて、例えば、「家庭では測りにくい身長・体重測定サービスをします」「見学は随時受け付けています。子育ての相談もどうぞ」といった文章を記載したものを玄関内側へ掲示してありますが、園が建物の2階にあるため地域の人々の目には触れず、周知されていません。園の取り組みを積極的に外部へ広報するため、園のパンフレットやホームページに記載したり、地域の子育て支援情報誌などに掲載を依頼したり、地元自治会の掲示板に掲示してもらうなど、身近な所から始めることが期待されます。

### ●人材育成への取り組み

人材育成計画を策定することが望まれます。座学研修、現場実習(OJT)、自己啓発などを含めた、総合的な人材育成方針・計画をつくり、さらに、経験・能力や習熟度に応じた役割・専門的知識・技術レベルなどの期待水準を明文化することで、職員が自己目標を設定するときの目安になることが期待できます。

## 分類別評価結果



「ひょう太マーク」は、各評価分類の水準を表しています。  
3 つ：高い水準にある 2 つ：一定の水準にある 1 つ：改善すべき点がある

### 評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）   |
|---|---|
| <p>I-1<br/>保育方針の共通理解と<br/>保育課程等の作成</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念は「“のびのび すくすく にこにこ” 子ども・保護者・地域・保育者、みんなで感動を分かち合い、満足できる笑顔あふれる保育園を目指します」と定めています。</li> <li>・ 保育方針を「・安心できる人間関係、整った保育環境の中で自己を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図ります。・様々な経験や人との関わりの中で、温かい人間性と豊かな感性を持った子に育てます。・子育て支援や地域との交流を深め、存在感のある保育園になるよう支援の充実に努めます。」としています。</li> <li>・ 保育目標を「心身共にたくましく 元気な子ども<br/>・友達と仲良く遊び 思いやりのある子ども ・感性豊かで 自分で考え行動ができる子ども」としています。</li> <li>・ 園の玄関に、保育理念・保育方針・保育目標を掲示しています。また、職員会議などで園長は職員に説明しています。</li> <li>・ 保育課程は、子どもの最善の利益を第一義とし、子どもの発達過程を踏まえ、長期的視野をもって作成しています。</li> <li>・ 保育課程を保護者に説明するには至っていません。</li> <li>・ 保育課程に基づき、年齢ごとに、年間指導計画・月間指導計画・週案を作成しています。</li> <li>・ 職員は、必要なことを、年齢や発達過程に応じた分かりやすい言葉で、子どもたちに話しかけるようにしています。子どもの態度・表情・仕草などから興味・関心を汲み取るようにし、日々の様子を把握しながら月案に反映させるなど、柔軟に対応しています。</li> </ul> |
| <p>I-2<br/>子どもの発達や状況に<br/>応じた適切な援助の実施</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園説明会終了後、保護者と個別面談し、あらかじめ保護者に記入してもらった子どもの生育歴や家庭での様子・家庭の状況などをベースに、詳しく聞き取っています。アレルギーのある子どもなどの場合、必要に応じ、看護師・栄養士も同席しています。</li> <li>・ 入園後の短縮保育（ならし保育）は、子どもの様子や保護者の状況を踏まえて、保護者と個々に話し合いながら進めています。</li> <li>・ 0,1歳の新入園児に対し、個別の主担当保育士は決めていませんが、クラス担当全員でさまざまな観点から見るようにしています。</li> </ul>  |

|   |  |
|---|--|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 0歳児クラスは園の書式によった用紙、1・2歳児クラスは、所定の形式のノートを用いて家庭との丁寧な連絡を行っています。3歳児以上のクラスでは、B6サイズの自由形式ノートを用いています。</li> <li>・ 在園児に対しては、進級に向けての移行期間（年度末ころ）に進級する部屋で過ごす時間を設け、子どもが安心感を持てるようにしています。</li> <li>・ 子どもの発達や状況に応じて、月間指導計画・週案の作成・評価・見直しを行っています。</li> <li>・ 評価・改訂にあたっては、朝夕送迎時の保護者の意見や要望を取り入れるようにしています。乳児の場合は、離乳食の進め方やトイレトレーニングを始める時期など、保護者と相談しながら一人一人に対する指導計画を立てています。</li> </ul>  |
| <p>I-3<br/>快適な施設環境の確保</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清掃チェック表に基づき、毎日清掃を行い、清潔を保っています。</li> <li>・ 温・湿度は、エアコン・加湿器などにより、適切に管理しています。</li> <li>・ 保育室は、0・1歳児室、2・3歳児室、4・5歳児室の3つに分かれ、クラス間の仕切りは、低い棚を設けているのみなので、隣のクラスと給食・午睡の時間を同じになるように工夫するほか、活動内容を保育士間であらかじめ調整し、お互いに妨げにならないように配慮しています。</li> <li>・ 沐浴設備、温水シャワーを設置し、毎日清掃し、清潔に保っています。</li> <li>・ 0・1歳児室は、パーティションなどで仕切りをつくり、小集団保育ができるよう工夫しています。</li> <li>・ 玄関と保育室の間に、広いホールがあり、異年齢児間交流の場となっています。</li> </ul>  |
| <p>I-4<br/>一人一人の子どもに個別に対応する努力</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳児については、離乳食の進め方、トイレトレーニングの開始時期など、保護者と相談し、一人一人の子どもの発達に応じた個別指導計画を作成しています。幼児については、特別な課題や気になりな点がある場合には、月間指導計画の中に、個別の配慮事項などを記載しています。</li> <li>・ 個別指導計画は、毎月末に評価・反省を行い、翌月の指導計画に反映させていますが、子どもの発達状況などに応じて、月の途中でも変更・見直しするなど、柔軟に対応しています。</li> <li>・ 子どもや家庭の個別の状況・要望や入園後の成長発達記録を決められた書式に記録し、個人別にファイリングして、鍵のかかる書棚に保管し、必要な時は園長の許可を得て、職員は誰でも見ることができるようになっています。</li> <li>・ 進級時には、食事面・生活面・発達面などの引きつぎ書類を作成し、次の担任にスムーズに伝達できるようにしています。</li> </ul> |

I-5  
保育上、特に配慮を要する  
子どもへの取り組み



- ・特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢があります。
- ・特に配慮を要する子どもの保育に関する外部研修などに参加した職員は、職員会議で報告したり、研修報告書を園内回覧したり、職員間で情報を共有するようにしています。
- ・車椅子でも利用できるトイレを備えています。また、部屋の出入り口ドアは、上部の鴨居から吊り下げた横開き構造となっていて床面の段差が無く、バリアフリーに配慮した造りとなっています。
- ・障がいの特性を考慮した個別指導計画を立てています。また、障がいのある子どもが在籍するクラスには、専任の保育士を配置しています。
- ・必要に応じ、横浜市南部地域療育センターから助言や情報を得られる体制があります。
- ・危機管理マニュアル中に、虐待が明白になった場合・虐待が疑わしい場合や見守りが必要な場合は、磯子区役所に通告・相談することをフローチャートで示しています。職員は、朝の受け入れ時や着替えの時に、視診をしっかりと行うようにしています。
- ・アレルギー疾患のある子どもの場合、かかりつけ医の診断書・意見書に基づき適切な対応をしています。食物アレルギーの場合は、さらに保護者から除去食提供依頼書を提出してもらっています。
- ・食物アレルギーの場合、対応マニュアルに沿い、朝のミーティング時・配膳時・提供時に、複数職員でチェックしています。また、調理室では色違いのアレルギー用テーブル・台ふきんを使用し、配膳に際しては、個別のネームプレート付きトレイに乗せ、食器も色違いのものを用いています。
- ・外国籍の子どもが在籍していますが、文化（言語・表現・食事）や生活習慣に関して、保護者から特別な要求があったことはありませんが、要望があれば尊重し対応することとしています。また、両親でなく、祖父母が迎えに来た場合は、ゆっくりと身振りをまじえて話しかけるようにしています。

I-6  
苦情解決体制



- ・要望・苦情の受付担当者は園長、苦情解決責任者は保育事業部長であること、第三者委員（2名選定）に直接苦情を申し立てできることを、入園のしおりに記載し、また、事務所の窓口に掲示して保護者に周知しています。
- ・玄関に意見箱を設置しています。行事の後は保護者にアンケートを依頼し、次回の計画に反映させるようにしています。また、運営委員会（保護者代表6名参加）を年3回開き、要望や意見を聞いています。
- ・要望や苦情は、文書でなく口頭でも受け付けることを保護者に伝えていきます。
- ・苦情は、外部の権利擁護機関などに申し立てできることを保護者には

伝えていません。磯子区役所・横浜市福祉調整委員会・かながわ福祉サービス運営適正化委員会などがあることを保護者に周知することが望まれます。

- ・ 危機管理マニュアル中に、苦情解決体制をフローチャートで示しています。
- ・ 書面での苦情だけでなく、朝夕送迎時などに、保護者から口頭で受けた要望などを記録・整理し、より良い園づくりに役立てることが期待されます。

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）   |
|--|---|
| <p data-bbox="145 304 225 331">Ⅱ－１</p> <p data-bbox="145 349 347 383">保育内容[遊び]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おもちゃや教材、本などは子どもが自分で取出して遊べるように種類ごとに分けて箱に入れて収納しています。</li> <li>・ 子どもが自分の好きなことを熱中して取り組んでいる時、保育士は年齢に応じて子どもが納得のいくまで好きなことを継続して取り組めるよう柔軟に対応しています。</li> <li>・ 子どもの自由な発想で、牛乳パックを広げてつなげた、手造りのパーティーションから回転寿司屋ごっこになったり、子どもたちとの会話からお化けごっこになったりと、子どもの発想を集団の遊びにとりいれています。</li> <li>・ 子どもがみんなと一緒に遊ぶ楽しさと共に、ルールを理解してルールを守る事を年齢に応じて集団遊びなどに取り入れています。</li> <li>・ 夏にはプランターでミニトマト、枝豆、オクラ、ナス、キュウリなどを栽培して、水やり、観察、収穫の経験をしました。オクラの種を観察して来年の種まきに興味をもったり、5歳児は鈴虫の餌やりを経験して冬眠に関心をもったりしています。</li> <li>・ 遊歩道を散歩して、水中の生き物や草花を見たり、虫の声を聞いたりすることなどから季節の変化を体験しています。また、ミノムシの制作から実物のミノムシを探して調べるなど自然に触れる機会を作っています。</li> <li>・ 年齢に応じて経験したことを絵に描いたり、友達と一緒に季節に合わせた大きな制作物を作って表現したりする楽しさを味わえるよう工夫しています。リズム遊びの日を設定して音楽に合わせて身体を動かして自分の気持ちなどを表現できるよう配慮しています。</li> <li>・ 子ども同士のけんか等については、年齢に応じてお互いの気持ちを受け止め、納得して解決が出来るよう見守っています。乳児は危険の無いよう保育士が間に入って子どもの気持ちを代弁しています。</li> <li>・ 散歩を積極的に取り入れ、年齢に応じて歩く距離や遊ぶ場所に配慮しています。</li> <li>・ 保育士はマットや跳び箱などを取り入れて、発達に応じた運動能力を高められる遊びを工夫しています。乳児はマットの山を登ったり、幼児はマットで前転をしたりなど年齢に応じた取り組みをしています。</li> </ul> |

## Ⅱ－１

### 保育内容[生活]



- ・ 給食で苦手な食べ物がある子どもには、無理をしないように一口食べる事からすすめ、食べられた時は褒めて食べる意欲を大切にできるようにしています。
- ・ 3、4、5歳児の給食の当番はコップを配ったり、ご飯やおかずなどを運んだりして手伝っています。また、年齢に応じて野菜に触れたり、野菜を栽培して収穫したり、クッキングしたりして食事の過程に関心を持つよう工夫しています。
- ・ ひな祭りや子どもの日、クリスマスメニューなど季節に合わせた献立を取り入れ、星形や動物に見立てたケーキを作るなど食欲がわく工夫をしています。
- ・ 給食の食器は陶器を使用し、0,1歳児と2,3歳児及び4,5歳児の3種類の大きさに分けています。スプーンは0歳児用、1歳児用、2～5歳児用と分けて安全で子どもたちが使い易いよう工夫しています。
- ・ 栄養士は保育士から毎日の子どもの好き嫌いの様子を聴取して、給食日誌につけ、クラスから出た意見を次回の献立に活かしています。
- ・ 献立は、事前に保護者に配布しています。離乳食の子どもの献立は、使用されている食品を家庭で食べているか確認を取って、食事形態を決めるなど保護者と連携をとっています。
- ・ 保護者が保育園の給食を試食できる機会は設けていません。保育園の給食は家庭での食事作りに参考にもなるので、今後、保護者が試食する機会を設けるよう期待します。
- ・ 乳幼児突然死症候群に対する対策として、乳児は5分ごと、幼児は10分ごとの呼吸チェックの他、うつぶせになっていないか、呼吸音、汗、顔色、寝具が顔にかぶさっていないか、痰がからんでいないかなどの項目にもチェックしています。
- ・ トイレトレーニングは個別にすすめ、クラス会議、職員会議などで話し合い職員は共通意識を持って子どもと接しています。保育士はトイレトレーニングの保育園での状況を伝え、保護者と連携を取って進めています。

## Ⅱ－２

### 健康管理・衛生管理・ 安全管理[健康管理]



- ・ 保育園では保育士が一人一人の健康状態を把握し、何かあった時は看護師に相談しながら対応しています。一人一人の健康台帳に既往症や予防接種歴などを記入し、新たな情報はその都度記入して職員に周知しています。
- ・ 食後の歯磨きは、1歳を過ぎると保育士が歯磨きをし、2歳児は保育士が絵本で歯磨きの大切さを子どもたちに伝えて仕上げ磨きをしています。3歳児以上は看護師が関心を持つよう歯磨きを指導し一人

|   |  |
|---|--|
|   | <p>一人が鏡を見て磨いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の健康台帳に年2回の健康診断、年1回の歯科健診の結果を記録しています。健康診断、歯科健診の結果は書面で保護者に報告しています。</li> <li>保育中に発熱や感染症の疑いが生じた場合は速やかに保護者に連絡し、他の子と隔離した事務室のカーテンを引いたベッドで横になって待ちます。保護者の事情を考慮してその間は看護師が診ています。</li> <li>感染症が発症した時は玄関の出入り口に「主な症状、感染経路、潜伏期間など」を掲示して保護者に情報提供するほか、各部屋にも掲示しています。</li> </ul>  |
| <p>II-2<br/>健康管理・衛生管理・<br/>安全管理[衛生管理]</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備・遊具の清掃や消毒などの衛生管理に関するマニュアルは、本社の看護師会で6か月に1度見直しをしています。訂正部分を赤字で示して訂正箇所がわかるように工夫しています。6か月ごとの見直し後マニュアルの内容は会議の中で確認して全職員が周知しています。</li> <li>保育室・ホール・トイレなど場所ごとに清掃マニュアルを定めています。例えば保育室内では床・ドアノブ・手すり・テーブル・椅子・玩具等の掃除の場所ごとに、使用用具・薬剤・清掃方法・留意点を記載したマニュアルを作成している。環境係を設置して、園内はマニュアルに基づいて清掃がされ、さらに看護師による消毒が行われ清潔な状態が保たれています。午睡の寝具は園で貸し出しており、シーツは週1回、布団は1か月に一度消毒乾燥して衛生に留意しています。</li> </ul>  |
| <p>II-2<br/>健康管理・衛生管理・<br/>安全管理[安全管理]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全管理マニュアルとして園児の状況把握、日常環境の整備、危険予知、未然防止のための措置や、園内・散歩時・水遊び・事故・ケガなどそれぞれの場合を想定した対応が記載され職員に周知しています。</li> <li>防災訓練は年間訓練計画表（訓練の種類、消防立会あり・なし、訓練内容、テーマなど）に基づいて実施し、報告書には園児の様子、反省と問題点などを記録して、次につながる訓練を実施しています。</li> <li>子どものケガについては、軽傷であっても必ず登降園チェック表に記載して保護者に口頭で伝え、保健日誌に記録しています。朝のミーティングや職員会議で事故の報告をし、再発防止策が話し合わせられ改善につなげています。ヒヤリハットの記録から、時間帯別・種類別・場所別等で集計して園内のヒヤリハットマップを作成し、職員間で危険個所の周知、改善を図っています。</li> <li>不審者等の侵入防止策として、出入り口は常に施錠されICカードで管理され、防犯カメラを設置しています。緊急通報体制が確立さ</li> </ul> |

れ、不審者対応訓練を実施して通報の仕方を確認しています。

### Ⅱ－３ 人権の尊重



- ・ 保育の振り返りの時などに職員間で子どもへの言葉遣いや言い方など話す機会を設け、主任は日常の保育の場面を捉えて注意をするようにしています。保育士は「早く」の言葉を使ってしまうことがあり、これからは、せかすことなく穏やかにわかり易い言葉で話すことが課題と園では考えています。
- ・ 保育室など空いている時間に、落ち着いた環境を作ってゆっくり話しをする場所があります。泣いていることなど、他の子どもに見られずにすむようにプライバシーを守る場所を用意する事ができます。
- ・ 園長は守秘義務の意義や目的を職員に説明して周知を図り、職員は誓約書に署名しています。個人情報に関する書類は施錠した戸棚で保管・管理しています。また、書類は保育園から持ち出さないよう取り決めています。
- ・ 性差による役割を固定的にとらえた話し方や表現はしないように職員は認識しています。固定観念で保育をしていないか、職員間で話せる環境を作っています。さらに主任は、現場で確認した時は、当事者に注意するだけでなく、全職員にも会議で話しをし、周知するようにしています。

### Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



- ・ 保育理念、保育方針、保育目標は入園説明会や入園式で保護者に説明しているほか、いつでも目に触れるよう玄関に掲示しています。また、月1回配布する園だよりで保育方針やそれに基づいた日常の保育を行っていることが理解されるよう努めています。
- ・ 全園児に連絡ノートを用いて保護者と連絡をとっています。乳児クラスは毎日家庭での様子・園での様子をきめ細かく情報交換し、幼児クラスは毎日家庭での検温結果を記入してもらい、何か特別なことがあればその都度情報交換をしています。
- ・ 相談する時は、部屋を用意して周りを気にせず話しが出来るよう配慮しています。相談者の意向や内容により、担任・主任・園長・看護師・栄養士など適切に対応出来るよう配慮しています。相談内容は記録して継続的なフォローする体制がとられています。
- ・ 親子ふれあい懇談会を実施し、園での子どもの様子を保護者が見る機会を設けていますが、保育の内容や目的を説明するまでには至っていません。今後はクラス懇談会など保護者にわかりやすく説明し情報提供の機会を作る事が期待されます。
- ・ 日々の活動をクラス毎に写真で記録してブログで公開しています。また行事などの様子は園入口に掲示して様子を伝えるよう努めてい

ます。

- ・ 保育参観や保育参加の希望者は個別に受け入れています。
- ・ 各クラスからそれぞれ1名運営委員を選出してもらっています。年3回運営委員会を開催し、保護者と園とのコミュニケーションを図っています。話し合った内容は議事録として公開されています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）   |
|---|---|
| <p>Ⅲ－１<br/>地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の子育て支援や要望を把握するための取り組みの具体的な対応はまだ講じられていません。</li> <li>・ 地域の子育て支援ニーズについて、職員間で話し合いは持たれていません。</li> <li>・ 一時保育は実施していますが、地域住民に向けて子育てや保育に関する講習会、研修会は開催していません。例えば、離乳食や健康管理などの講習会等、出来るところから提供する事が期待されます。</li> </ul>   |
| <p>Ⅲ－２<br/>保育所の専門性を活かした相談機能</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民への専門性を活かした育児支援に関する情報提供や育児相談は実施していませんので、実施に向けて検討することが望まれます。例えば、園内に掲示している「身長・体重測定サービスをします」「見学は随時受け付けています。子育ての相談もどうぞ」という園の取り組みを、園のパンフレットやホームページに掲載するなど、身近な所から始めることが期待されます。</li> <li>・ 関係機関との連携は園長が担当者となっていて、必要な関係機関、医療機関など相談機関の情報はありますが、職員が情報を共有するまでには至っていません。</li> </ul> |

評価領域Ⅳ 開かれた運営

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）  |
|--|--|
| <p>Ⅳ－１<br/>保育所の地域開放・<br/>地域コミュニティへの<br/>働きかけ</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の団体、機関と定期的、計画的に交流を図るまでには至っていません。</li> <li>・ 週１回、小学校の開放日に年長児は校庭や体育館を使って在校生、卒園児と触れあって交流を図っています。</li> <li>・ ビル管理会社に間に入ってもらい、ビル内他事業所と協力関係を作り、防災や災害防止に具体的に取り組んでいきたい意向を持っていますが現在はまだ実現していません。</li> <li>・ 子どもたちは地域の公共施設を訪れ、図書館や消防署、バス車庫の人々と交流を図っています。</li> <li>・ 子どもたちは近隣の商業施設でお泊り保育の買い物をしたり、商業施設主催の絵画展に参加して子どもの作品を展示してもらったりして交流を図っています。</li> <li>・ 子どもたちは、近隣の地域ケアプラザに夏季から敬老の日頃まで週１回訪問して高齢者と交流を図っています。</li> </ul> |
| <p>Ⅳ－２<br/>サービス内容等に関する<br/>情報提供</p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園のサービス内容などの情報をパンフレット、ホームページで地域や関係機関に随時提供しています。横浜市のホームページ「ヨコハマはびねすぽっと」に保育園の情報を提供しています。磯子区主催のパネル展に参加して園の保育理念や保育方針、行事などの情報を提供しています。</li> <li>・ 園のパンフレットに見学に関する問い合わせ先が明記され、利用希望者には問い合わせ時に見学できることを案内しています。見学希望者には複数の候補日を挙げて希望日に添えるようにしています。1回の見学は丁寧な説明を心掛けて２組までとしています。</li> </ul>  |
| <p>Ⅳ－３<br/>ボランティア・実習の<br/>受け入れ</p>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習生受け入れのためのマニュアルには、受け入れ、オリエンテーション、守秘義務、書類確認、保護者や職員への周知、実習担当、相談連絡などが記載されています。受け入れにあたり、事前に職員や利用者に説明しています。</li> <li>・ 主任は受け入れ担当者として、受け入れの記録をし、効果的な実習が行われるよう学校側と話し合い、目的に応じて計画書を作成しています。</li> <li>・ 現在ボランティアの受け入れのためのマニュアルはありません。受け入れの実績も今のところありません。</li> </ul>  |

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）  |
|--|--|
| <p>V-1<br/>職員の人材育成</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修計画に基づき、内部研修や横浜市などが行う外部研修へ、必要な職員が参加しています。外部研修に参加した職員は研修報告書を書くとともに、職員会議で内容を報告し、職員全体で情報を共有するようにしています。</li> <li>・ 常勤職員・非常勤職員とも、目標管理シートに基づき、年2回自己評価を行い、園長との面談を行っています。</li> <li>・ 研修の計画はありますが、現場実習（OJT）、自己啓発などを含めた総合的な人材育成方針や育成計画は策定されていません。</li> </ul>   |
| <p>V-2<br/>職員の技術の向上</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 週案・月間指導計画・年間指導計画の見直し・自己評価、目標管理シートに基づく自己評価など、一人一人の職員が自己評価を行う仕組みを持っています。</li> <li>・ 保育士などが行う週案・月間指導計画・年間指導計画の自己評価は、計画で意図したねらいと関連付けて行い、評価・反省・考察の結果を、次の週案・月間指導計画・年間指導計画に反映させています。また、目標管理シートに基づく自己評価の結果を、次年度の目標設定につなげています。</li> <li>・ 外部研修や園長会で、他園の工夫・改善した良い事例を得たときは、職員会議などで取り入れられるかどうかなどを話し合っています。</li> <li>・ 園としての自己評価を行うまでには至っていません。</li> </ul> |
| <p>V-3<br/>職員のモチベーションの維持</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の保育や保護者との対応など、できるだけ現場の職員に任せられるようにしています。園長は、報告・連絡・相談を密にするように職員に伝えています。</li> <li>・ 会議の場だけでなく、いつでも園長や主任に、改善提案したり意見を述べたりできることが職員ヒアリングで確認されました。また、年1回、本社から職員一人一人にアンケート調査があり、改善提案や意見を述べる機会ともなっています。</li> <li>・ 経験・能力や習熟度に応じた役割を、期待水準として明文化するには至っていません。</li> </ul>   |

評価領域VI 経営管理

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）   |
|--|---|
| <p>VI-1<br/>経営における社会的責任</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就業規則中に、服務規律として職員の守るべき事項を明記し、他施設での不正・不適切な事例を入手したときは、職員会議などで取り上げ職員に周知・啓発するなど、職員が法・規範・倫理などを遵守するようにしています。</li> <li>・ 廃材・牛乳パックなどをおもちゃの素材として活用するほか、ゴミの分別を意識して行っています。</li> <li>・ 使用していない部屋の電灯や空調機器をこまめに消すなど、省エネルギーに取り組んでいます。また、プランターで野菜の栽培を行い緑化推進しています。</li> <li>・ 環境配慮への取り組みを、園の方針や目標として明文化するには至っていません。</li> </ul>   |
| <p>VI-2<br/>施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念・保育方針・保育目標を園の玄関に掲示しています。園長は、職員会議や毎朝のミーティングなど、さまざまな機会に説明しています。</li> <li>・ 園長は、年3回の運営委員会で保護者代表と意見交換しているほか、朝夕の送迎時などできるだけ保護者と意見交換するよう努めています。</li> <li>・ 重要事項が決定されたときは、職員会議で、目的・決定理由・経過などを十分に説明しています。また、保護者には文書を配布しています。</li> <li>・ 主任は、日々現場に出て子どもたちと接していて、その際に、個々の職員の業務状況を把握しています。また、クラス会議にも出席し、業務状況・課題を把握するようにしています。</li> <li>・ 主任および園長が勤務シフトを作成していて、一人一人の職員の希望を入れながら、精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう配慮しています。また、職員間で良好なコミュニケーションが取れるように、挨拶や言葉かけをするよう努めています。</li> </ul> |
| <p>VI-3<br/>効率的な運営</p>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業運営に影響のある情報は、磯子区園長会や本社から得ています。重要な情報は、職員会議で伝え、意見交換しています。</li> <li>・ 「地域との交流」「個人情報の保護・秘密保持」を本年度の課題とし、園全体で取り組んでいます。</li> <li>・ 本社が、今後の新たな取り組みなどを計画しています。また、後継者の育成もしています。</li> </ul>  |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中長期計画を作成するには至っていません。</li> <li>・ 本社から内部監査を受けてはいますが、運営に関し、社外の専門家などから助言・指導を受ける体制はありません。※現在、園の運営</li> </ul>  |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>委員会メンバーは、保護者代表 6 名と、園長と主任です。横浜市の要綱では、運営委員会構成メンバーとして①社会福祉事業の知識・経験を有する者（例えば、民生児童委員、自治会長、弁護士、税理士など）1 名以上、②利用者（保護者）、③施設長など（園長など）を推奨しています。この要綱に沿った構成メンバーとすることが期待されます。</p> |
|--|---|



## 利用者家族アンケート分析

### 【実施概要】

- 実施期間：2014年9月16日～2014年10月1日
- 実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡しで配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。
- 回収率：配付68件、回収32件、回収率47.0%

### 【結果の特徴】

(回収率が47%と約半数なので、以下の記述は、必ずしも多数の保護者の意見であるとは限りません。)

- ・「総合満足度」は、81.3%です。(「満足」34.4%、「どちらかといえば満足」46.9%)

【問1】の「保育目標・保育方針」については、72%の保護者が「よく知っている」「まあ知っている」と答え、その内、88%の保護者が、目標・方針について「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えています。

【問2】～【問7】の回答で、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合が、合わせて90%を超えているのは、次の5項目です。(数字は%)

| 項目                               | 満足   | どちらかといえば満足 | 合計   |
|----------------------------------|------|------------|------|
| 【問2】子どもが給食を楽しんでいるか               | 62.5 | 34.4       | 96.9 |
| 【問2】給食の献立内容                      | 46.9 | 46.9       | 93.8 |
| 【問2】遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分保っているか  | 40.6 | 50.0       | 90.6 |
| 【問4】基本的な生活習慣の自立についての取り組み         | 56.3 | 37.5       | 93.8 |
| 【問6】園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報交換 | 43.8 | 46.9       | 90.7 |

「満足」の割合だけを見ると、50%を超えているのは、「給食を楽しんでいるか」「基本的な生活習慣の自立」の2項目です。

なお、「満足」が50%を超えているのは、上記以外では、次の2項目です。

| 項目                        | 満足   | どちらかといえば満足 | 合計   |
|---------------------------|------|------------|------|
| 【問4】遊びを通じた子どもの健康づくりへの取り組み | 53.1 | 28.1       | 81.2 |
| 【問7】子どもが園生活を楽しんでいるか       | 53.1 | 34.4       | 87.5 |

【問2】～【問7】の回答で、「どちらかといえば不満」「不満」と回答した割合が、合わせて20%を超えているのは、次の6項目です。(数字は%)

| 項目                  | どちらかといえば不満 | 不満   | 合計   |
|---------------------|------------|------|------|
| 【問2】費用やきまりに関する説明    | 9.4        | 18.8 | 28.2 |
| 【問3】年間の保育や行事についての説明 | 12.5       | 9.4  | 21.9 |

|                                 |      |      |      |
|---------------------------------|------|------|------|
| 【問4】子どもが戸外遊びを十分しているか            | 15.6 | 9.4  | 25.0 |
| 【問4】保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応 | 12.5 | 9.4  | 21.9 |
| 【問6】保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会     | 21.9 | 12.5 | 34.4 |
| 【問7】意見や要望への対応                   | 12.5 | 9.4  | 21.9 |

なお、ほとんどの項目で、「どちらかといえば不満」「不満」の回答があります。両者ともゼロなのは、【問4】“子どもが給食を楽しんでいるか”の1項目のみです。

自由記述欄では、「遠くまで散歩に連れて行ってくれる」「国産の食材をほとんど使っているので安心」「担任の先生が素晴らしい」「毎日のブログ更新を楽しみにしている」など感謝の声があります。

一方、「もう少し外遊びがあると良い」「ケガがあった時の説明が不十分」「担任以外の先生に伝達されていない」「職員によって対応が異なる」「きまりごとですからと、機械的に対応される」など、さまざまな意見や要望があります。

アンケートの数値で、「満足」と答えた割合が50%を超える項目が比較的少なく、「どちらかといえば満足」の回答が多いことが特徴です。

数値だけでは保護者が具体的にどういうことを望んでいるかは分かりませんので、保護者の生の声をどのように聞き取るかの工夫が望まれます。

## 利用者家族アンケート集計結果

調査期間：

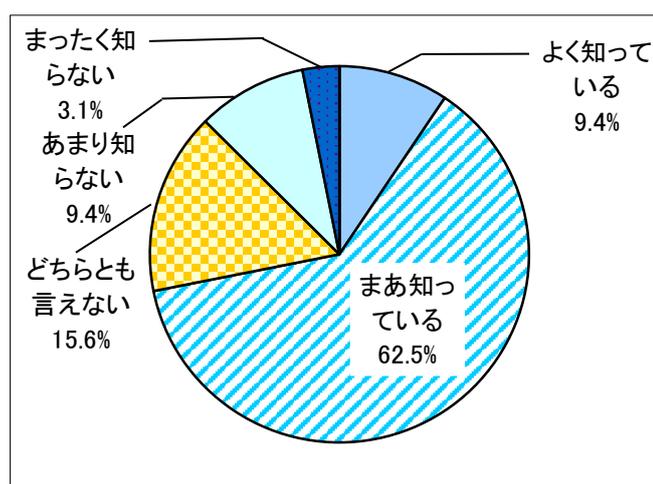
2014年9月16日～10月1日

★施設名：太陽の子磯子保育園

回収率：47.0%（配布68枚中、回収32枚）

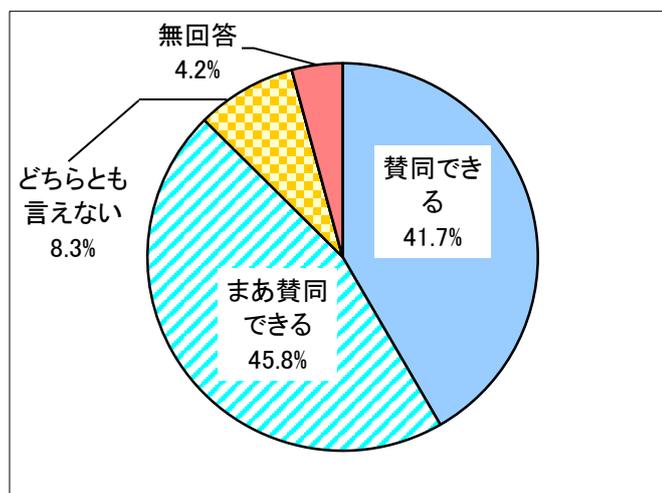
|        | 0歳児<br>クラス | 1歳児<br>クラス | 2歳児<br>クラス | 3歳児<br>クラス | 4歳児<br>クラス | 5歳児<br>クラス | 無回答 | (人) |
|--------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|
| 何歳児クラス | 7          | 7          | 3          | 5          | 6          | 4          | 0   |     |

| 問1：                       | よく知っ<br>ている | まあ知っ<br>ている | どちらとも<br>言えない | あまり知ら<br>ない | まったく知<br>らない | 無回答 | (%) |
|---------------------------|-------------|-------------|---------------|-------------|--------------|-----|-----|
| あなたは、この園の保育目標や保育方針をご存じですか | 9.4         | 62.5        | 15.6          | 9.4         | 3.1          | 0.0 |     |



付問1:

| 付問1：                            | 賛同でき<br>る | まあ賛同で<br>きる | どちらとも<br>言えない | あまり賛同<br>できない | 賛同でき<br>ない | 無回答 | (%) |
|---------------------------------|-----------|-------------|---------------|---------------|------------|-----|-----|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか | 41.7      | 45.8        | 8.3           | 0.0           | 0.0        | 4.2 |     |



問2: 入園する時の状況について

|                                | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答 | (%) |
|--------------------------------|------|------------|------------|------|------|-----|-----|
| 見学の受入について                      | 31.3 | 25.0       | 15.6       | 3.1  | 25.0 | 0.0 |     |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供について       | 28.1 | 43.8       | 12.5       | 6.3  | 9.4  | 0.0 |     |
| 園の目標や方針についての説明には               | 18.8 | 53.1       | 15.6       | 6.3  | 3.1  | 3.1 |     |
| 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には | 34.4 | 53.1       | 9.4        | 3.1  | 0.0  | 0.0 |     |
| 保育園で1日の過ごし方についての説明             | 34.4 | 53.1       | 9.4        | 3.1  | 0.0  | 0.0 |     |
| 費用やきまりに関する説明には                 | 21.9 | 46.9       | 9.4        | 18.8 | 3.1  | 0.0 |     |

問3: 年間の計画について

|                           | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | (%) |
|---------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明には         | 34.4 | 43.8       | 12.5       | 9.4 | 0.0 | 0.0 |     |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか | 15.6 | 59.4       | 9.4        | 9.4 | 6.3 | 0.0 |     |

問4: 日常の保育内容について

| 「遊び」について                    | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | (%) |
|-----------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| クラスの活動や遊びについては              | 37.5 | 50.0       | 6.3        | 6.3 | 0.0 | 0.0 |     |
| 子どもが戸外遊びを十分しているかについては       | 31.3 | 40.6       | 15.6       | 9.4 | 3.1 | 0.0 |     |
| 園のおもちゃや教材については              | 34.3 | 50.0       | 6.3        | 0.0 | 9.4 | 0.0 |     |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については  | 37.5 | 46.9       | 9.4        | 6.3 | 0.0 | 0.0 |     |
| 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分持っているか | 40.6 | 50.0       | 6.3        | 3.1 | 0.0 | 0.0 |     |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては | 53.1 | 28.1       | 15.6       | 3.1 | 0.0 | 0.0 |     |

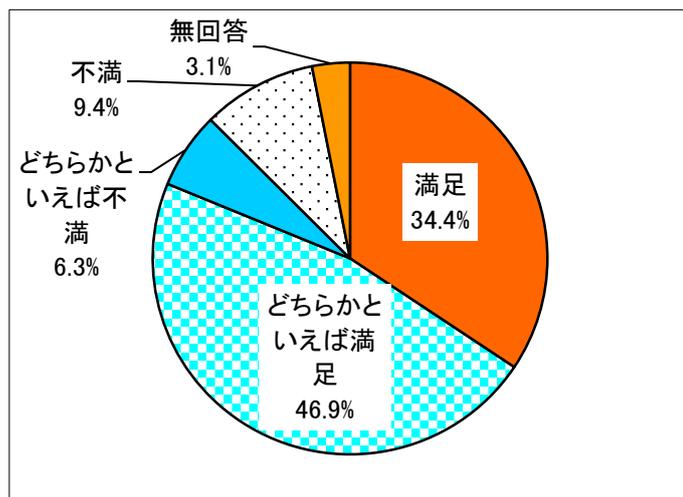
| 「生活」について                             | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | (%) |
|--------------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 給食の献立内容については                         | 46.9 | 46.9       | 3.1        | 3.1 | 0.0 | 0.0 |     |
| お子さんが給食を楽しんでいるか                      | 62.5 | 34.4       | 0.0        | 0.0 | 3.1 | 0.0 |     |
| 基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについて             | 56.3 | 37.5       | 3.1        | 0.0 | 3.1 | 0.0 |     |
| 昼寝や休息がお子さんの状況に応じて対応されているか            | 40.6 | 43.8       | 6.3        | 6.3 | 3.1 | 0.0 |     |
| おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか | 43.8 | 43.8       | 0.0        | 6.3 | 3.1 | 3.1 |     |
| お子さんの体調への気配りについて                     | 46.9 | 40.6       | 3.1        | 9.4 | 0.0 | 0.0 |     |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には        | 40.6 | 37.5       | 12.5       | 9.4 | 0.0 | 0.0 |     |

| 問5: 快適さや安全対策などについて       | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | (%) |
|--------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 施設設備について                 | 37.5 | 46.9       | 3.1        | 9.4 | 3.1 | 0.0 |     |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか | 37.5 | 50.0       | 9.4        | 3.1 | 0.0 | 0.0 |     |
| 外部からの不審者侵入を防ぐ対策について      | 40.6 | 46.9       | 12.5       | 0.0 | 0.0 | 0.0 |     |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について | 53.1 | 34.4       | 9.4        | 3.1 | 0.0 | 0.0 |     |

| 問6: 園と保護者との連携・交流について                   | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他 | 無回答 | (%) |
|--|------|------------|------------|------|-----|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について            | 25.0 | 40.6       | 21.9       | 12.5 | 0.0 | 0.0 |     |
| 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について       | 43.8 | 46.9       | 6.3        | 3.1  | 0.0 | 0.0 |     |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については                  | 40.6 | 46.9       | 6.3        | 6.3  | 0.0 | 0.0 |     |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換について             | 18.8 | 56.3       | 9.4        | 9.4  | 3.1 | 3.1 |     |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制について                 | 36.4 | 45.5       | 4.5        | 9.1  | 0.0 | 4.5 |     |
| 保護者からの相談事への対応には                        | 27.3 | 54.5       | 9.1        | 4.5  | 0.0 | 4.5 |     |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる対応には | 22.7 | 63.6       | 4.5        | 4.5  | 0.0 | 4.5 |     |

| 問7: 職員の対応について                  | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他  | 無回答 | (%) |
|--------------------------------|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| あなたのお子さんが大切にされてされているか          | 43.8 | 43.8       | 3.1        | 6.3 | 0.0  | 3.1 |     |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか         | 53.1 | 34.4       | 3.1        | 6.3 | 0.0  | 3.1 |     |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮について | 40.6 | 34.3       | 3.1        | 6.2 | 12.5 | 3.1 |     |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうか             | 43.8 | 40.6       | 6.3        | 6.3 | 0.0  | 3.1 |     |
| 意見や要望への対応について                  | 25.0 | 46.9       | 12.5       | 9.4 | 3.1  | 3.1 |     |

| 問8: 総合的な評価 | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | 無回答 | (%) |
|------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 総合満足度は     | 34.4 | 46.9       | 6.3        | 9.4 | 3.1 |     |





## 利用者本人調査

### 【実施概要】

■実施日時：2014年12月8日、12月10日

■実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

### ■0歳児クラス

朝の集まりで、保育士が陽気な「地球を踏んづけろドンドン・・・」の音楽をかけ、リズムに合わせて動くと、子どもたちもそれを見て動きます。次は、絵本読み聞かせです。保育士が「もも、とっと、くっく、てって」と読むと、子どもたちも言葉を繰り返します。散歩の準備ができ、バギーに乗って出発です。公園では、保育士に「まてまて」と追いかけて喜んで声をあげる子ども、滑り台をくぐって「バァ」と声を出す子ども、高い踏み台に挑戦する子どもなど、さまざまです。保育士の手を借りながらも滑り台への段を登り、上まで到達し「すごいね。〇ちゃん、上まで上がったね。」と褒められた子どもは、高いところから保育士と一緒に友達に手を振ります。保育士が一人ずつ抱いて滑り台を滑り降ります。何度も繰り返す子どももいます。帰りはバギーに乗る子どもと交代に順番に保育士と手をつないで歩きます。園に帰り、給食前に絵本を自分で選んで読み始めます。隣り合った子ども同士が、音のする絵本を取り合い始めましたが、片方の子どもがあきらめて、もう一方の子どもに渡すと「えらいねー。すごい、やさしいね。」とすぐ保育士が褒めています。保育士は子どもに補助しながら「あらおいしい、モグモグ。野菜もカミカミしてから、ごっくん」と声をかけています。ほとんどの子どもが上手に口に入れていきます。「集まれしよう」と茶碗に残ったご飯を寄せてもらって食べました。散歩で疲れたのか眠そうにしながら食べている子どもも見受けられます。

### ■1歳児クラス

子どもたちはマットの上で自由遊びをしています。「アナと雪の女王」ごっこをしている子どももいます。保育士の“おかたづけ”の声かけで、片付け始めます。片付けに参加しようとしていない子どもに保育士は声をかけて、全員で行うようにし、できた子どものことをどんどん褒めています。ふたを閉めたいのにうまく閉められない子どもには、気が済むまで見守っています。今日はテラスで遊びます。保育士からボールの使い方を聞いて、それぞれ転がしたり、持って走ったり、取り合ったりしています。子どもたちは元気よく走り回っています。ボール遊びが終わると保育士と競争です。みんな良く走りました。

保育室に戻ると木のレールをつなげて、電車のおもちゃを走らせて遊びます。部屋の隅のおもちゃ箱と引き出しの間が子どもたちのお気に入りの場所で、みんなでぎゅうぎゅうに集まっている姿が見られます。子どもは保育士と手をつないでトイレに行きます。自分でかごからパンツ型オムツを取り出して保育士に渡したりする子どもや、自分から一人で便器に座る子どももいます。保育士が後始末と着替えを手伝ってくれます。給食はみんな良く食べています。保育士に助けをもらう子どももいますが、ほとんどの子どもは一人で残さず食べています。

### ■2歳児クラス

散歩の準備が出来て、帽子をかぶり、玄関で靴を履き、園長先生に見送られて出発です。子どもたちは二

人ずつ手をつないで歩き、横断歩道を渡るときは手を上げます。信号を待っている時「停まることが出来て、えらいね。」と保育士が褒めています。歩道を走る自転車を避けて進みます。急坂を登り始めました。結構きつい斜面のある坂ですが、子どもたちは元気に頑張っています。カーブしている坂道で、さっき自分たちが通って来た道を見下ろせる場所に着き、保育士は、「歩いてきた道 見えた？」と言いながらみんな一緒に一休み。保育士の「もう少しよ」の声に励まされ頑張ります。子どもたちは 30 分弱の時間を歩いて公園に到着しました。公園入口の階段を上がる時は「お手手を放して。つかまって」と手すりにつかまるよう伝えます。保育士は子どもたちに「海が見えるよ」「船が見えるよ」と話しかけています。保育士は線を引き「ここから先は出ないでね」と伝え、「どうぞ」の声かけで子どもたちは遊び始めます。お茶を飲んでから、「海さん、バイバイ」「船さん、バイバイ」と帰る支度をします。下りもかなりきつそうで、そろそろ歩きます。園にもどり「お帽子を脱いでくるくる丸めて」「上着 きちんとたたんで」「手をきちんと洗おうね。終わったらうがい」と保育士から声かけがあり、みんな頑張っています。

### ■ 3歳児クラス

朝の絵本の時間、本棚に行って自分の好きな本を選んで席に戻って読みます。本の中の主人公探しをして楽しそうに本を読む姿が見られました。トイレに行きたくなった子どもは保育士に声をかけてから行きます。終わった後は、石鹸で手を洗い、紙タオルで拭いています。次は、帽子や明るい色のベストの衣装を初めて着けてクリスマス発表会のダンスの練習です。曲に合わせてジャンプしたりして上手に身体を動かしています。ダンスの位置や動きがわからない子どもには保育士が声を掛けています。練習の後「体操しようか」とCDに合わせてダンスをすると、みんな楽しそうに声を出して歌いながら踊っています。その後は狼さんゲーム（狼に扮した保育士に最後は捕まえられるゲーム）をします。捕まえてほしかったのに、本当に捕まると泣いてしまった子どももいます。沢山動いて、「先生、着替えていい？汗かいたー」と言って自分で引き出しからシャツを取り出して着替えている子どももいます。脱いだものは自分でビニール袋に入れ棚にしまえます。袋の口を縛って結べない子どもは保育士に手伝ってもらいます。保育士は「今日の給食はなにかな？」と献立を言って子どもたちの関心を誘います。箸を上手に使っている子ども、チャレンジ中の子ども、まだスプーンの子ともと様々ですが、みんな野菜もおかずも良く食べます。お代りする子どももいます。子どもたちは、自分で使い終わった食器をワゴンに片付け、食後の歯磨きに取り組んでいます。

### ■ 4歳児クラス

子どもたちは絵本を読んでいます。保育士の「ひまわりさん、おかたづけ」の声に本立てに戻します。散歩に出かけないで、自由遊びの時間にすることを保育士は伝え、テーブルと床で、何の遊びにするか子どもたちに聞いています。子どもたちは好きなものを棚から持ってきて遊び始めます。塗り絵をする子ども、折り紙を絵本にある見本通りにしようと懸命になっている子ども、あやとりを始めた子どももいます。床では、30cm 角のスポンジパズルをはめ込んで段々広げていきます。マットの中にピタッとはめ込むことが出来ると嬉しそうです。他の子どももスポンジパズルに集まってきます。マットの上にペットボトルを10本並べてボーリングが始まりました。子どもたちは、順番にボールを転がします。保育士が「何本倒れたか数えて？」と言うと、子どもたちは倒れたボトルを1本1本数えて答えます。10本全部倒れると、みんな大喜びで声をあげます。保育士の「そろそろ終わり、片づけてテラスに行きます。」の声かけで、子どもたちは手際よく片づけます。トイレに行く子どももいます。テラスでは遊びに移る前に気を付けることなど保育士から聞いて、子どもたちは走り回ります。歌いながら走る子ども、かごめかごめをする子ども、

何か見つけた子どももいます。外遊びが終り、子どもたちは、ジャンパーを脱いで、畳んで共通の箱に入れ、手洗いとうがいをします。「給食を持ってきていいですか？」の声で静かに待ちます。当番はエプロン、マスク、三角巾を付けて配膳を手伝います。「お手手をパッチン、いただきます」おしゃべりをしながら沢山食べています。みんなで「ごちそうさま」をした後も、最後まで残って食べている子どもに保育士は「がんばってるね」と励ましの声をかけています。

#### ■ 5歳児クラス

ピアノに合わせて「あわてんぼうのサンタクロース」を歌い、「すごいね、5番まで覚えて歌えました」と褒められ嬉しそう。続いて「虹のむこう」「雪のペンキ屋さん」声を合わせて歌っています。保育士に本を読んでもらいます。良く通る声で関西弁の言葉で話す絵本を子どもたちはクスリと笑いながら真剣に見入っています。今日の予定を保育士が伝え、当番が前に出て「今日も頑張ります。よろしくお願いします。」と挨拶をします。ホールに出てクリスマス発表会の練習をします。「ドレミのうた」は動作を交えて歌い、それぞれが違うパートを歌う部分もあり、頑張っている様子が窺えます。「さるかに合戦」は「声も出て、笑顔も出てとてもよく出来ました」「一人一人がセリフを言うゆり組さん、すごいね。」園長先生に褒められ嬉しそうです。身体を動かそうとビルの前の遊歩道に外出です。お約束「お話ししてもいいですか？」「はい」「道路にいつては？」「だめ」「どうして」「あぶないから」を確認して早速遊びます。高いところに上る子ども、落ち葉の雨を降らす子ども、追いかけてっこをする子ども、木の根に足を取られ転倒するもすぐ走り始めました。敷いてある石を使って数人がじゃんけんして陣地取り遊びを始めると次々に子どもたちが後ろに並びます。道行く人に「こんにちは」と声を掛ける子どももいます。ザリガニのいる池を覗き込む子ども、木の実や木の樹皮に綿状の物を発見して保育士に尋ねる子どももいます。園に帰ってからは手洗い、うがいをします。給食の準備をする間、子どもたちは静かにおしゃべりもしないで待ちます。



## 事業者コメント

第三者評価を受審した事によって、保育園の良いところ・改善が必要なところ・今後の方向性などがみえ保育の振り返りができました。また、受審を通して、自己評価を職員皆で取り組む中で個々の保育感を改めて確認し、一体感が深まったことは貴重な経験です。

今回の評価を通して、この経験・結果を無駄にすることなく今後に活かして参りたいと思います。開園3年目の課題の地域交流・地域子育て支援は、できることから、始めていく所存です。

保護者の皆様には、お忙しい中ご協力頂きました保護者アンケートでの貴重なご意見に感謝いたします。これからも保護者の皆様が安心して、ご利用いただけるように、努めてまいります。

また、評価関係機関のスタッフの皆様には、保育園視察など保育・運営他にわたり、丁寧に見て頂けたことに心より感謝致します。

ありがとうございました。

太陽の子 磯子保育園 白岩愛子

---

**福祉サービス第三者評価 評価機関**

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号  
横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号  
横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01  
全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 認証番号 2510-002-01

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター  
〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201 号室  
TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118  
<http://www.yresearch-center.jp>

